

目的の本が「書架」のどこにあるかすぐ見つけよう！

1年 総合科目
「産業社会と人間」
資料の活用・利用指導

ねらい

- 自分の学校にある図書館の書架に、どんな本がどこにあるのかつかむ。
- 自分の探したい本が、書架のどのあたりにあるかわかるようになる。

学 習 展 開

- ① 司書・司書教諭による本校学校図書館ガイダンスを通して、それぞれの分野が書架のどこに置かれているのかをつかむ。
- ② 生徒はA・B班に分かれ、A班の各生徒が、本のタイトルと、その内容に関するクイズが書かれた2枚の短冊をくじとして引く。生徒はタイトルとガイダンスをヒントに2冊の本を書架から探し、見つけたらクイズを解いて短冊に答えを書いて、司書に提出する。この間B班は『『緑風図書館』クイズ』ワークシートに取り組む。(15分程度)
- ③ 同様に、今度はB班の生徒が2枚の短冊を引いたあと、本を探し、クイズを解く。その間、A班は前述のワークシートに取り組む。
- ④ 今回の学習活動を振り返る。



クイズの短冊と本（『新幹線ガール』
徳淵真利子著 KADOKAWA）

★指導のポイント

- ◆ 司書教諭は前もって、どの分野の資料が、書架のどこにあるかについて把握しておき、生徒に明確に示せるようにする。
- ◆ 書架のどこにどんな本があるかわかることで、本を手に取りやすくなり、教養が豊かになっていく、という見通しを持たせる。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭は、授業者と協力して、資料の選定、クイズの作成を行う。
- 司書教諭、学校司書はクイズを解いたりワークシートに取り組んだり生徒に対し、T2、T3として支援する。

資料

学校所蔵の図書館資料、「鳥取緑風高校図書館ガイダンス」（レジュメ）
「鳥取緑風高校図書館クイズ」（ワークシート）